

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

特別会計		事務事業分類	A 一般事務事業					
事務事業名	堺市高齢者世話付住宅(シルバーハウジング)生活援助員派遣事業		シート番号	011-071				
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	地域包括ケア推進	課	評価責任者(課長名)	阿加井

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	地域全体で支える福祉の仕組みづくり	無
	2	事業開始年度	平成 11 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	介護保険法			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	国土交通省と厚生労働省の共管事業として、高齢者の住まいの安定を図るため実施された。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	生活指導・相談、安否の確認、一時的な家事援助、緊急時の対応等のサービスが必要とする高齢者で市内のシルバーハウジングに入居している者				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	市内のシルバーハウジングに入居している高齢者が安心して暮らせることを目的とする。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	市内のシルバーハウジングに入居している高齢者世帯に生活援助員を派遣して、生活指導・相談、安否の確認、一時的な家事援助、緊急時の対応等のサービスを提供する。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () (福)南の風、(福)関西福祉会、(福)大阪府社会福祉事業団					

Ⅲ. 投入量

事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	7,482	7,499	7,482	7,482	7,482	7,552	7,621	
	主な事業費内訳	委託料	千円	7,482	7,482	7,482	7,482	7,482	7,552	7,621
		その他	千円		17					
	財源内訳	国・府支出金	千円	4,377	4,387	4,321	4,321	4,321	4,361	4,401
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円							
		その他(第1号被保険者保険料)	千円	1,646	1,650	1,721	1,721	1,721	1,737	1,753
	一般財源	千円	1,459	1,462	1,440	1,440	1,440	1,454	1,467	
12	人件費 (b)	千円	82	82	82	82	81	81	82	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	7,564	7,581	7,564	7,564	7,563	7,633	7,703	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	堺市高齢者世話付住宅(シルバーハウジング)生活援助員派遣事業	シート番号	011-071
-------	--------------------------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	<p>シルバーハウジングの入居者に対して、生活援助員を派遣し、下記のサービスを実施した。</p> <p>①生活指導及び生活相談 ②入居者の安否確認 ③一時的な家事援助 ④入居者による自主活動や交流会の支援 ⑤緊急時の対応 ⑥関係機関等との連絡 ⑦そのほかの日常生活上必要な援助</p> <p>令和元年度は、例年通り3住宅全71戸を対象に、合計741回派遣を行った。 その結果、シルバーハウジング入居者の安心安全な暮らしの確保につながった。</p>							
	14	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		派遣回数	回	目標値	-	-	-	-
				実績値	741	741	741	-
				達成率	-	-	-	-
				評価	-	-	-	-
	算出方法・設定根拠など		あらかじめ目標を設定する性質でないため、派遣回数を実績値として計上している。					
	15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		派遣戸数	戸	目標値	-	-	-	-
				実績値	71	71	71	-
達成率				-	-	-	-	
評価				-	-	-	-	
算出方法・設定根拠など		あらかじめ目標を設定する性質でないため、派遣戸数を実績値として計上している。						

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	派遣回数	回	741	741	741	
	②	上記①にかかる年間経費	千円	7,581	7,564	7,633	
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	10,231	10,208	10,301	
	備考(算出についての説明等)						
18			区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	①						
	②	上記①にかかる年間経費	千円				
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位				
備考(算出についての説明等)							

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		<p>市内のシルバーハウジング入居者に対して、生活援助員を派遣し、生活指導・相談・安否の確認、緊急時の対応等のサービスを提供することにより、入居者の安心安全な暮らしの確保につながっている。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	堺市高齢者世話付住宅(シルバーハウジング)生活援助員派遣事業	シート番号	011-071
-------	--------------------------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 今後さらなる高齢者の増加が見込まれる中で、高齢者が安心・安全に暮らせる住居を確保することは必要不可欠である。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 シルバーハウジングに生活援助員が不在となれば、有事の際に安否確認や、その他対応が迅速に行えない。	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 シルバーハウジングの入居者に対し、住民の生活相談、安否確認、一時的な家事援助、緊急時対応等を、必要時に迅速に提供できるよう、生活援助員を1名配置しており、その性質上、縮減は困難である。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 検温や消毒のほか、出務者の時差出勤の導入や、業務の一部を対面から電話での対応に変更するなど、状況に応じた感染予防策を講じている。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (住宅管理課) 関連事業名 (市営住宅維持管理) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 ③シルバーハウジングは住宅の整備・管理を行う住宅部門と、生活援助員の派遣を行う福祉部門が連携して実施している。	
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見	堺市内のシルバーハウジングとして建設されている市営・府営住宅は、3棟71戸であり、増設予定等はないため現状を継続する。		